

平成30年度 第1回 高等学校入学者選抜審議会

日時 平成30年7月27日(金) 10:00～

場所 行政庁舎11階 第二会議室

次 第

1 開 会

2 諮 問

- (1) 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について
- (2) 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について
- (3) 第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について

3 審 議

- (1) 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について
- (2) 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について
- (3) 第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について

4 報 告

- (1) 平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について
- (2) 平成31年度宮城県公立高等学校入学者選抜について

5 その他

6 閉 会

【 資 料 】

(総ページ数)

- 資料1 諮問・審議関係資料・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 資料2 報告関係資料・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 参考資料 新しい県立高等学校入学者選抜制度について
- 参考資料 新入試制度周知用リーフレット

[別冊資料] 平成31年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧

高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 平成24年12月条例第71号

第1条 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

第3条 委員及び専門委員は、学校の教職員、総合教育センターの職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

第4条 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

第5条 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

第6条 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

第7条 この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第71号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

第1回高等学校入学者選抜審議会 名簿

(審議会委員)

No.	氏名	現職	備考
1	柴山 直	東北大学大学院教育学研究科教授	
2	田端 健人	宮城教育大学教育学部教授	
3	坪田 益美	東北学院大学教養学部准教授	
4	川嶋 輝彦	仙台経済同友会事務局長	
5	増田恵美子	宮城第一高等学校PTA会長	
6	村上 裕子	宮城県PTA連合会副会長	
7	伊藤 宣子	聖ウルスラ学院英智高等学校校長	
8	玉川 昌子	亘理町立吉田中学校校長	
9	亀倉 靖宏	仙台市立上杉山中中学校校長	
10	鎌田 鉄朗	宮城教育大学附属中学校副校長	
11	村上 善司	女川町教育委員会教育長	
12	岩田 光世	仙台市教育局学校教育課教育指導課長	
13	久保 義洋	仙台第二高等学校校長	
14	栗野 琴絵	富谷高等学校校長	
15	徳能 順子	松山高等学校校長	
16	岡 邦広	総合教育センター所長	

(教育庁)

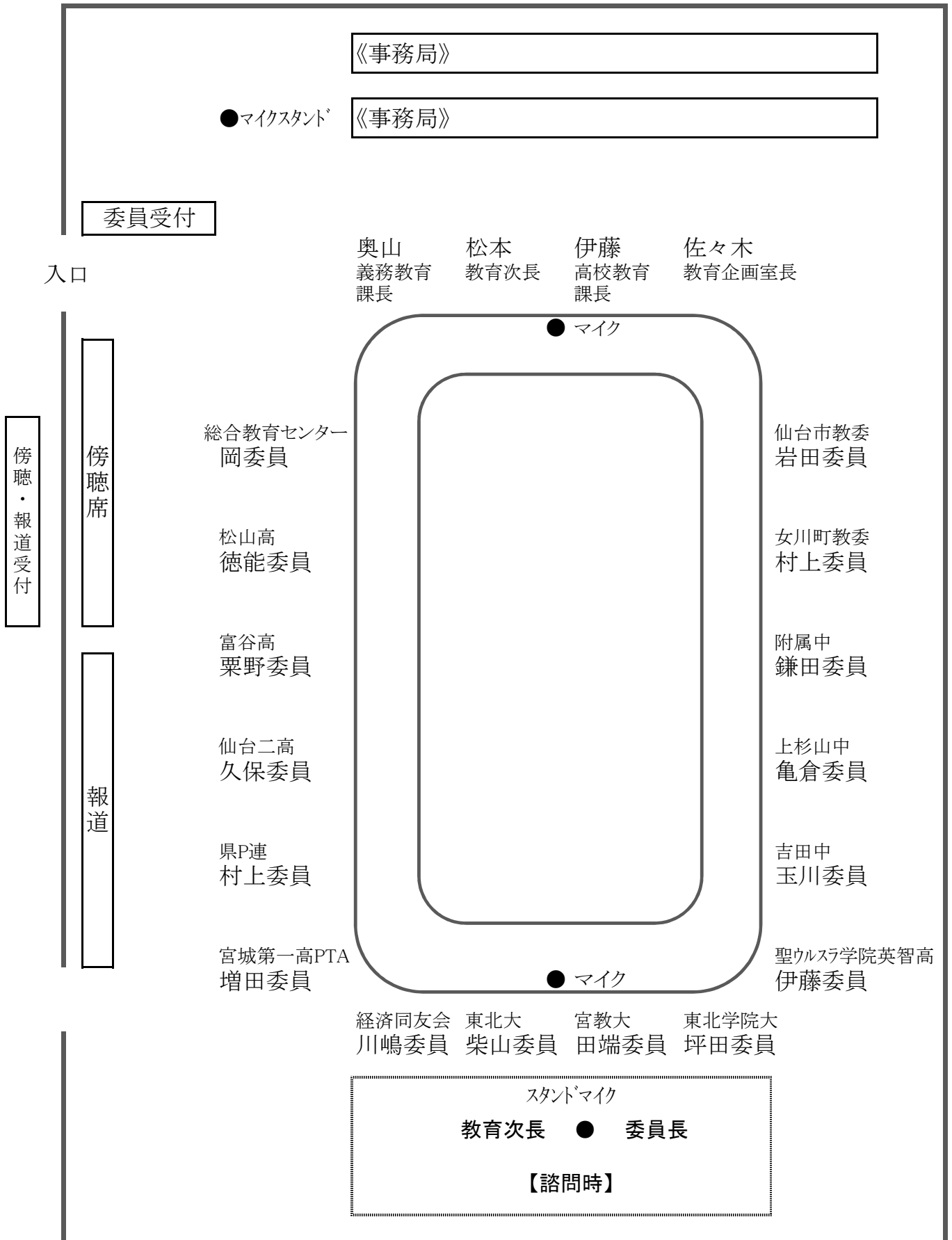
教育委員会	教育長	高橋 仁
	教育次長	高橋 剛彦
	教育次長	松本 文弘
教育企画室	室長	佐々木 真
	教育改革班室長補佐兼企画員	西城 昭子
教職員課	県立学校人事班課長補佐	菅原 賢一
義務教育課	課長	奥山 勉
	指導班副参事	市岡 良庸
高校教育課	課長	伊藤 俊
	副参事兼課長補佐	佐藤 淳
	副参事兼課長補佐	千葉 胤継
	教育指導班課長補佐	遠藤 秀樹
	教育指導班主幹	菅原 紀子
	〃 主幹	櫻井 知大
	〃 主幹	大澤 健史
	〃 主幹	今野 敦子
	〃 主幹	鈴木 歩
	〃 主幹	上遠野裕子
	〃 主任主査	高木 伸幸
	〃 主任主査	佐々木久晴
	〃 主査	渡邊 伸明

(仙台市教育局)

学校教育課	高校教育課	課長	田中 充
	〃	指導主事	中村 淳

平成30年度 第1回高等学校入学者選抜審議会 座席図

行政庁舎11階 第二会議室



諮問・審議 関係資料

諮 問

諮問文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（別紙1）平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について・・・・	2
（別紙2）平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について・・・・	4
（別紙3）第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について・・	5

審 議

1 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針及び日程について	
（1）選抜方針について・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（2）選抜日程について	
イ 平成22年度～平成31年度高等学校入学者選抜日程の推移・・・・	9
ロ 平成32年度入学者選抜日程のシミュレーション・・・・・・・・	10
2 第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について	
（1）入学者選抜横行における第二次募集の出願資格及び出願制限について	11
（2）第二次募集実施校について・・・・・・・・	12
（3）第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限の課題について	12
（参考）県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて・・・・	13



高 第 2 9 6 号

平成30年7月27日

高等学校入学者選抜審議会委員長 殿

宮城県教育委員会

教育長 高 橋



宮城県立高等学校入学者選抜について（諮問）

このことについて、高等学校入学者選抜審議会条例第1条の規定により、下記事項について諮問します。

記

- 1 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について（別紙1）
- 2 平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について（別紙2）
- 3 第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について（別紙3）

平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針

宮城県立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各高等学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあっては調査書等作成のための委員会を、高等学校にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - イ 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 連携型中高一貫教育に関する選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学力検査（第一次募集に準じる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

6 社会人特別選抜

定時制課程の学科においては、第一次募集において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

7 通信制課程に関する選抜

当該高等学校長は上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜日程

第一次募集

実 施 日 平成32年 3月 3日 (火)

追 試 験 日 平成32年 3月 9日 (月)

合 格 発 表 日 平成32年 3月 17日 (火)

第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について

宮城県公立高等学校入学者選抜については、公正かつ適正を基本としつつ、社会の変化等に対応し、これまで様々な改善を行ってきました。

県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについては、昭和51年に岩手県教育委員会と、昭和52年に福島県教育委員会とそれぞれ「県境隣接地域公立高等学校入学志願取扱協定」を締結し、その後、平成12年に「県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定」を締結して、現在に至るまで、県境隣接地域に住所を有する者の多様な学びの場の確保に努めてまいりました。

しかし、第二次募集においては、入学者選抜要項で「県境隣接協定に基づき、本県の第二次募集に出願できる者は、本県の公立高等学校の後期選抜に出願した者に限る」とし、本県に住所を有する生徒であっても、岩手県、福島県、山形県の高等学校に出願し、本県の後期選抜に出願していない者は、本県の第二次募集に出願できないことを定めております。そのため、県境隣接協定に基づいて他県を受験した者は、本県の第二次募集に出願することができないという現状があります。これにより、県境隣接協定に基づいて他県を受験した者と、本県在住で本県を受験した者とは、第二次募集における高等学校の選択幅に隔たりが生じております。また、少子高齢化の急速な進行とともに、県境隣接地域においても志願者数が募集定員を満たしていない高等学校が複数見られることから、こうした状況に対応し、第二次募集の出願制限について見直しを含めた検討をする必要があると考えます。

以上のことから、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、より公正かつ適正な選抜を実現するため、本審議会に、第二次募集の出願制限について様々な観点から総合的に御検討いただくよう、諮問いたします。

1 平成32年度宮城県公立高等学校入学者選抜方針及び日程について

(1) 選抜方針について

- ・平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針
(諮問・審議関係資料 2, 3ページ(別紙1)参照)

(新旧対照表)

新	旧
<p>平成32年度宮城県立高等学校入学者選抜方針 ○右に同じ</p> <p>1 基本原則 ○右に同じ</p> <p>2 第一次募集</p> <p>(1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、<u>第一次募集</u>を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、<u>調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、実技(体育及び美術に関する学科の場合)、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。</u></p> <p>(2) <u>学力検査</u></p> <p style="padding-left: 20px;">イ <u>学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。</p>	<p>平成31年度宮城県立高等学校入学者選抜方針 宮城県立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。</p> <p>1 基本原則</p> <p>(1) 各高等学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。</p> <p>(2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあっては調査書等作成のための委員会を、高等学校にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。</p> <p>2 前期選抜</p> <p>(1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、<u>前期選抜</u>を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、<u>調査書、その他必要な書類、学校独自検査の結果及び学力検査の結果に基づいて総合的に審査するものとする。</u>各高等学校は、<u>学校独自検査及び学力検査の満点及び総点を適宜定める。</u></p> <p>(2) <u>学校独自検査</u></p> <p style="padding-left: 20px;"><u>学校独自検査は、面接、実技(体育及び美術に関する学科の場合)及び作文等の中から一つ以上実施する。</u></p> <p>(3) <u>学力検査</u></p> <p style="padding-left: 20px;">イ <u>学力検査の実施教科は、国語、数学及び英語とする。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。</p>

新	旧
<p>3 追試験</p> <p><u>すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。</u></p> <p><u>この場合、学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。</u></p> <p>4 第二次募集</p> <p>合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。</p>	<p>3 後期選抜</p> <p><u>(1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、後期選抜を実施する。選抜に当たって、高等学校長は原則として、調査書、その他必要な書類及び学力検査の結果に基づいて総合的に審査するものとする。</u></p> <p><u>この場合、次のイ～ハのいずれか一つ又は複数を実施して、その結果を選抜の資料に加えることができる。また、必要に応じて、イ～ハ以外の資料を加えることができる。</u></p> <p><u>イ 面接</u></p> <p><u>ロ 実技（体育及び美術に関する学科の場合）</u></p> <p><u>ハ 一部教科の得点を倍にする等の傾斜配点</u></p> <p>(2) 学力検査</p> <p><u>イ 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。</u></p> <p><u>ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。</u></p> <p>○なし</p> <p>4 第二次募集</p> <p>合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。</p>

新	旧
<p>5 連携型中高一貫教育に関する入試 連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学力検査(第一次募集に準じる。)及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。</p> <p>6 社会人特別選抜 定時制課程の学科においては、<u>第一次募集</u>において社会人を対象とした選抜を行う事ができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。</p> <p>7 通信制課程に関する選抜 ○右に同じ</p>	<p>5 連携型中高一貫教育に関する入試 連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学力検査(<u>前期選抜</u>に準じる。)及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。</p> <p>6 社会人特別選抜 定時制課程の学科においては、<u>前期選抜</u>において社会人を対象とした選抜を行う事ができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。</p> <p>7 通信制課程に関する選抜 当該高等学校は上記によらず、選抜を行うことができるものとする。</p>

(2) 選抜日程について

イ 平成22年度～平成31年度高等学校入学者選抜日程の推移

入試年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
入試制度				前期選抜・後期選抜・第二次募集							第一次募集 第二次募集
推薦入学・前期選抜 出願者受付	1.13～22	1.13～21	1.16～23	1.11～16	1.14～17	1.13～16	1.12～15	1.10～13	1.9～12	1.8～11※	
推薦入学出願者の面接等	1.29(金)	1.31(月)	1.31(火)	\							
(私立高入試A日程)	2.1(月)	2.1(火)	2.1(水)								1.28(月)
(私立高入試B日程)	2.3(水)	2.3(木)	2.3(金)	1.30(水)	1.31(金)	1.30(金)	1.29(金)	1.27(金)	1.26(金)	2.6(水)	
前期選抜実施日	\			2.1(金)	2.4(火)	2.3(火)	2.3(水)	2.1(水)	1.31(水)	1.31(木)	
推薦入学結果通知 前期合格発表				2.5(金)	2.7(月)	2.7(火)	2.12(火)	2.12(水)	2.10(火)	2.12(金)	2.9(木)
出願受付	2.15～23	2.16～24	2.16～23	2.20～25	2.20～25	2.19～24	2.23～26	2.21～24	2.19～22	2.18～21※	
学力検査	3.4(木)	3.9(水)	3.8(木)	3.7(木)	3.6(木)	3.5(木)	3.9(水)	3.8(水)	3.6(火)	3.6(水)	
合格者の発表	3.10(水)	3.15(火)	3.14(水)	3.13(水)	3.12(水)	3.12(木)	3.16(水)	3.16(木)	3.14(水)	3.14(木)	
第二次募集出願受付	3.11～16	3.16～18	3.15～19	3.14～18	3.13～17	3.13～17	3.17～18	3.17～21	3.15～19	3.15～18※	
第二次募集実施日 ・合格発表	3.17～18	3.22～23	3.21～22	3.21～22	3.19～20	3.19～20	3.23～24	3.22～23	3.20 又は22	3.19※ 又は20	

※は予定

※ 平成32年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

審議

ロ 平成32年度入学者選抜日程のシミュレーション

	平成30年	平成31年	平成32年		
			案1	案2	案3
月	15	14	13	13	13
火	16	15	14	14	14
水	17	16	15 出願希望調査	15 出願希望調査	15 出願希望調査
木	18	17	16 出願希望調査	16 出願希望調査	16 出願希望調査
金	19	18	17 出願希望調査	17 出願希望調査	17 出願希望調査
土	20	19	18	18	18
日	21	20	19	19	19
月	22	21	20	20	20
火	23	22	21	21	21
水	24 私立A日程	23	22	22	22
木	25	24	23	23	23
金	26 私立B日程	25	24	24	24
土	27	26	25	25	25
日	28	27	26	26	26
月	29	28	27	27	27
火	30	29	28	28	28
水	31 前期学力検査日	30	29	29	29
木	↑2月1	↑2月1	30	30	30
金	2	2	31	31	31
土	3	2	2月1	2月1	2月1
日	4	3	2	2	2
月	5	4 私立A日程	3	3	3
火	6	5	4	4	4
水	7	6 私立B日程	5	5	5
木	8 前期合格発表	7	6	6	6
金	9	8 前期合格発表	7	7	7
土	10	9	8	8	8
日	11	10	9	9	9
月	12	11	10	10	10
火	13	12	11	11	11
水	14	13	12	12	12
木	15	14	13	13	13
金	16	15	14	14	14
土	17	16	15	15	15
日	18	17	16	16	16
月	19 後期出願	18 後期出願	17 一次出願	17 一次出願	17 一次出願
火	20 後期出願	19 後期出願	18 一次出願	18 一次出願	18 一次出願
水	21 後期出願	20 後期出願	19 一次出願	19 一次出願	19 一次出願
木	22 後期出願	21 後期出願	20 一次出願	20 一次出願	20 一次出願
金	23	22	21 一次出願	21	21
土	24	23	22	22	22
日	25	24	23	23	23
月	26	25	24	24	24
火	27	26	25	25	25
水	28	27	26	26	26
木	3月1 卒業式	28	27	27	27
金	2	3月1 卒業式	28	28	28
土	3	2	29	29	29
日	4	3	3月1 卒業式	3月1 卒業式	3月1 卒業式
月	5	4	2	2	2
火	6 後期学力検査日	5	3 一次学力検査日	3 一次学力検査日	3 一次学力検査日
水	7	6 後期学力検査日	4 一次面接等	4 一次面接等	4 一次面接等
木	8	7	5 一次面接等	5	5
金	9	8	6	6 追試験	6
土	10	9	7	7	7
日	11 鎮魂の日	10	8	8	8
月	12	11 鎮魂の日	9 追試験	9	9 追試験
火	13	12	10	10	10
水	14 後期合格発表	13	11 鎮魂の日	11 鎮魂の日	11 鎮魂の日
木	15 二次出願	14 後期合格発表	12	12	12
金	16 二次出願	15 二次出願	13 中卒業式	13 中卒業式	13 中卒業式
土	17	16	14	14	14
日	18	17	15	15	15
月	19 二次出願	18 二次出願	16	16	16
火	20 二次実施合格発表	19 二次実施合格発表	17 一次合格発表	17 一次合格発表	17 一次合格発表
水	21	20 二次合格発表	18 二次出願	18 二次出願	18 二次出願
木	22 二次合格発表	21	19 二次出願	19 二次出願	19 二次出願
金	23	22	20	20	20
土	24	23	21	21	21
日	25	24	22	22	22
月	26	25	23 二次実施合格発表	23 二次実施合格発表	23 二次実施合格発表
火	27	26	24 二次合格発表	24 二次合格発表	24 二次合格発表
水	28	27	25	25	25

2 第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限について

(1) 入学者選抜要項における第二次募集の出願資格及び出願制限について

イ 第二次募集における出願資格について

【平成30年度入学者選抜要項】

3 出願資格

第二次募集に出願できる者は、「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁に該当する者のうち、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者とする。

(1) 本県の公立高等学校の前期選抜、社会人特別選抜、連携型選抜、後期選抜又は私立高等学校の入学試験を受験し、いずれにも合格していない者

この趣旨は、本県の公私立高等学校を受験して合格していない者に対し、第二次募集を行う高等学校に限り、再度受験の機会を与えることにある。

ただし、いずれの高等学校にも合格していない者には、私立高等学校の入学試験に合格し、最終の入学手続をとらない者を含む。

ロ 第二次募集における出願制限について

【平成30年度入学者選抜要項】

4 出願制限

(1) 出願できる高等学校は、第二次募集を実施する高等学校の一つに限る。

(2) 出願できる過程及び学科・コースは、一つに限る。また、通信制課程との併願はできない。

(3) 本県の生徒で県境隣接協定等に基づき岩手県、福島県、山形県の高等学校に出願し、本県の後期選抜に出願していない者は、本県の第二次募集に出願できない。

(4) 岩手県、福島県の生徒で県境隣接協定に基づき本県の第二次募集に出願できるのは、本県の公立高等学校後期選抜に出願した者に限る。

(2) 第二次募集実施校について

イ 岩手県との県境隣接協定に基づき岩手県の一般入試に出願し、不合格だった者が受験できる二次募集実施校及び平成30年度実施校一覧（全日制）

市町村	志願できる高等学校	学校・学科数	宮城県
栗原市 ※旧金成町 旧若柳町	<input checked="" type="checkbox"/> 一関第一（二次募集／無） <input checked="" type="checkbox"/> 一関第二（二次募集／無） <input type="checkbox"/> 一関工業（二次募集／有） <input checked="" type="checkbox"/> 花泉（二次募集／無）	1校3学科	<input type="checkbox"/> 宮城県における 第二次募集実施校 35校56学科コース うち <input type="checkbox"/> 栗原地区 3校5学科 <input type="checkbox"/> 登米地区 3校7学科 <input type="checkbox"/> 本吉地区 3校5学科
登米市 ※旧中田町 旧石越町 旧東和町	<input checked="" type="checkbox"/> 一関第一（二次募集／無） <input checked="" type="checkbox"/> 一関第二（二次募集／無） <input type="checkbox"/> 一関工業（二次募集／有） <input checked="" type="checkbox"/> 花泉（二次募集／無）	1校3学科	
気仙沼市	<input type="checkbox"/> 千厩（二次募集／有） <input type="checkbox"/> 高田（二次募集／有） <input type="checkbox"/> 大船渡東（二次募集／有）	3校7学科	

ロ 福島県との県境隣接協定に基づき福島県の一般入試に出願し、不合格だった者が受験できるⅢ期選抜実施校及び平成30年度実施校一覧（全日制）

市町村	志願できる高等学校	学校・学科数	宮城県
白石市	<input type="checkbox"/> 梁川（Ⅲ期選抜／有）	1校1学科	<input type="checkbox"/> 宮城県における 第二次募集実施校 35校56学科コース うち <input type="checkbox"/> 刈田・遠田地区 7校12学科 <input type="checkbox"/> 伊具地区 1校1学科 <input type="checkbox"/> 亘理・名取地区 1校2学科
伊具郡丸森町	<input type="checkbox"/> 梁川（Ⅲ期選抜／有） <input type="checkbox"/> 新地（Ⅲ期選抜／有） <input checked="" type="checkbox"/> 相馬（Ⅲ期選抜／無） <input checked="" type="checkbox"/> 相馬東（Ⅲ期選抜／無）	2校2学科	
亘理郡山元町	<input type="checkbox"/> 新地（Ⅲ期選抜／有） <input checked="" type="checkbox"/> 相馬（Ⅲ期選抜／無） <input checked="" type="checkbox"/> 相馬東（Ⅲ期選抜／無）	1校1学科	

(3) 第二次募集における県境隣接協定に係る出願制限の課題

- ▶ 他県を受験した県境隣接地域に住所を有する者の、第二次募集における高校選択幅が、本県受験者と比べ著しく狭い。
- ▶ 県境隣接地域に設置している高等学校の第二次募集への出願機会の抑制。
- ▶ 県境隣接地域に住所を有する県内の者と県外の者との公平な取扱い。

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

I 県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定

(I) 宮城県と岩手県との協定

宮城県教育委員会と岩手県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成16年1月1日より施行し、平成16年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と岩手県の県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定（平成13年12月28日締結）は、廃止する。

平成15年12月22日

宮 城 県 教 育 委 員 会
岩 手 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
栗原市（平成17年3月31日における旧栗駒町，旧金成町，旧若柳町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校
登米市（平成17年3月31日における旧石越町，旧中田町，旧東和町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校
気仙沼市	千厩高等学校（普通科を除く） 高田高等学校 大船渡東高等学校

岩手県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
一関市（平成17年9月19日における一関市，西磐井郡花泉町の区域に限る。）	岩ヶ崎高等学校 迫桜高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校
一関市（平成17年9月19日における東磐井郡室根村および平成23年9月25日における東磐井郡藤沢町の区域に限る。）	気仙沼高等学校 } ※ 気仙沼西高等学校 } ※ 本吉響高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校 気仙沼向洋高等学校
大船渡市 陸前高田市	気仙沼高等学校 } ※ 気仙沼西高等学校 } ※ 本吉響高等学校 気仙沼向洋高等学校

※平成30年4月1日からの統合に伴い、別表中、気仙沼高等学校と気仙沼西高等学校は、気仙沼高等学校となる予定である。

(Ⅱ) 宮城県と福島県との協定

宮城県教育委員会と福島県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成13年1月1日より施行し、平成13年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と福島県の県境隣接地域公立高等学校入学志願取扱協定（昭和52年10月11日締結）は、廃止する。

平成12年12月18日

宮 城 県 教 育 委 員 会
福 島 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
白石市	梁川高等学校
伊具郡丸森町	梁川高等学校 新地高等学校 相馬高等学校 相馬東高等学校
亘理郡山元町	新地高等学校 相馬高等学校 相馬東高等学校

福島県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
伊達郡国見町 〃 桑折町 伊達市梁川町 (平成17年12月31日現在の旧伊達郡梁川町の区域に限る)	白石高等学校 白石工業高等学校 伊具高等学校
相馬郡新地町 相馬市	伊具高等学校 亘理高等学校

Ⅱ 宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有する者が山形県の公立高等学校へ志願する場合

宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有し、通学の便が悪いため本県の公立高等学校へ志願できない者は、山形県の最寄りの特定の高等学校（上山明新館高、高島高）へ志願することができる。

報 告 関 係 資 料

報告（1）

平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について

1	総括	1
2	学科別出願者数・合格者数等	2
3	地区別出願者数・合格者数等（全日制課程）	2
4	学科別出願倍率	3
5	地区別出願倍率（全日制課程）	3
6	出願状況からみた全県一学区化に伴う地区外出願状況について	3

報告（2）

平成31年度宮城県公立高等学校入学者選抜について

1	平成31年度宮城県公立高等学校入学者選抜について 募集定員，日程等	4
2	平成31年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧の詳細について 社会人特別選抜，事務日程（予定）	5

平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について

1 総括

		全日制課程		定時制課程	
		平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
中学校卒業予定者数(平成29年5月1日現在)		21,008	21,590	—	—
募集定員 (a)		14,560	14,720	1,000	1,000
併設型中学校から併設型高等学校への入学 (b)		200	202		
前期選抜	募集人数	4,814	4,846	296	296
	出願者数	8,153	7,979	220	199
	出願倍率	1.69	1.65	0.74	0.67
	欠席者数	21	30	5	3
	受験者数	8,126	7,943	214	196
	受験倍率	1.69	1.64	0.72	0.66
	合格者数 (c)	4,594	4,575	147 (1)	143 (0)
連携型選抜	募集人数	92	106		
	出願者数	55	57		
	合格者数 (d)	52	51		
後期選抜	募集人数	9,718	9,892	853	857
	出願者数	11,203	11,913	252	273
	出願倍率	1.15	1.20	0.30	0.32
	特例措置出願	0	1	0	0
	欠席者数	162	161	7	4
	受験者数	11,041	11,752	245	269
	受験倍率	1.14	1.19	0.29	0.31
	合格者数 (e)	8,861	9,185	209	226
第二次募集	募集人数	864	719	644	631
	出願者数	151	183	75	106
	受験者数	151	183	74	104
	合格者数 (f)	133	173	63	88
全合格者数 (b+c+d+e+f)		13,840	14,186	419	457
充足率 (%) $((b+c+d+e+f)/a * 100)$		95.1	96.4	41.9	45.7

(注) ()内数字は、社会人特別選抜合格者数で内数

		通信制課程(一期)		通信制課程(二期)	
		平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度
入学者選抜	募集定員	450	450	50	50
	募集人数	450	450	406	367
	出願者数	96	133	9月受付	4
	受験者数	94	133	9月実施	4
	合格者数	94	133	9月実施	4

※一期の結果について、平成29年度の出願者数、受験者数、合格者数の133名には、0単位編入生の27名を含む。
平成30年度の出願者数、受験者数、合格者数には、0単位編入生の30名が含まれておらず、0単位編入生分を含めると、それぞれ126名、124名、124名となる。それに伴い、平成30年度二期の募集人数は、376名となる。

2 学科別出願者数・合格者数等

(1) 全日制課程

	学 科	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率			
1	普通	9,200	5,056	2,613	51.7	7,622	6,001	78.7	241	42	8,897
2	農業	720	550	246	44.7	526	396	75.3	—	9	651
3	工業	1,560	815	589	72.3	1,104	901	81.6	—	8	1,498
4	商業	1,200	653	441	67.5	741	596	80.4	11	28	1,076
5	水産	240	141	96	68.1	98	87	88.8	—	14	197
6	体育	120	157	84	53.5	39	33	84.6	—	2	119
7	英語	80	48	28	58.3	88	52	59.1	—	—	80
8	家庭	120	59	44	74.6	81	72	88.9	—	—	116
9	看護	40	18	12	66.7	38	28	73.7	—	—	40
10	理数	200	145	79	54.5	220	121	55.0	—	—	200
11	美術	40	57	20	35.1	33	21	63.6	—	—	41
12	総合	960	407	309	75.9	592	534	90.2	—	30	873
13	福祉	40	23	16	69.6	11	11	100.0	—	—	27
14	災害科学	40	24	17	70.8	10	8	80.0	—	—	25
	計	14,560	8,153	4,594	56.3	11,203	8,861	79.1	252	133	13,840

※ 中高一貫教育進学者数は、連携型選抜合格者数と併設型中学校から併設型高校への進学者数を合わせたもの

(2) 定時制課程

	学 科	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率			
1	普通	760	195	128	65.6	230	195	84.8	—	56	379
2	工業	240	25	19	76.0	22	14	63.6	—	7	40
	計	1,000	220	147	66.8	252	209	82.9	—	63	419

3 地区別出願者数・合格者数等(全日制課程)

	地 区	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率			
1	刈田・柴田	1,280	687	434	63.2	735	670	91.2	—	34	1,138
2	伊 具	280	83	74	89.2	164	155	94.5	—	7	236
	南部地区	1,560	770	508	66.0	899	825	91.8	—	41	1,374
3	亘理・名取	1,000	609	308	50.6	926	685	74.0	—	2	995
4	仙 台南	2,400	1,439	709	49.3	2,243	1,584	70.6	104	3	2,400
	中部南地区	3,400	2,048	1,017	49.7	3,169	2,269	71.6	104	5	3,395
5	仙 台北	2,880	1,763	888	50.4	2,850	1,994	70.0	—	—	2,882
6	塩 釜	1,120	752	364	48.4	934	741	79.3	—	—	1,105
7	黒 川	520	219	186	84.9	408	330	80.9	—	—	516
	中部北地区	4,520	2,734	1,438	52.6	4,192	3,065	73.1	—	—	4,503
8	大 崎	1,280	629	381	60.6	756	670	88.6	96	20	1,167
9	遠 田	440	249	143	57.4	219	214	97.7	—	11	368
10	登 米	600	353	204	57.8	330	313	94.8	—	4	521
11	栗 原	560	277	183	66.1	288	265	92.0	—	18	466
	北部地区	2,880	1,508	911	60.4	1,593	1,462	91.8	96	53	2,522
12	石 巻	1,600	819	562	68.6	1,003	924	92.1	—	25	1,511
13	本 吉	600	274	158	57.7	347	316	91.1	52	9	535
	東部地区	2,200	1,093	720	65.9	1,350	1,240	91.9	52	34	2,046
	総 計	14,560	8,153	4,594	56.3	11,203	8,861	79.1	252	133	13,840

4 学科別出願倍率

(1) 前期選抜(H24は推薦)

学 科	出願倍率				
	H30	H29	H28	H27	H24
1 普通	1.88	1.81	1.85	1.75	1.22
2 農業	1.91	1.78	1.73	1.67	0.45
3 工業	1.31	1.35	1.71	1.73	0.89
4 商業	1.40	1.36	1.43	1.32	0.96
5 水産	1.47	1.29	1.32	1.16	0.51
6 体育	1.87	1.96	2.11	2.07	1.42
7 英語	1.71	1.18	1.93	1.32	1.09
8 家庭	1.23	1.40	1.92	1.31	0.92
9 看護	1.50	1.50	1.25	1.58	1.81
10 理数	1.81	1.48	1.41	1.73	1.00
11 美術	2.85	3.35	2.90	3.55	0.96
12 総合	1.16	1.18	1.14	1.18	0.60
13 福祉	1.44	1.19	1.25	1.38	—
14 災害科学	1.50	2.50	2.06	—	—
全日制課程	1.69	1.65	1.72	1.65	1.05
定時制課程	0.74	0.67	0.66	0.75	0.08

(2) 後期選抜(H24は一般入試)

学 科	出願倍率				
	H30	H29	H28	H27	H24
1 普通	1.20	1.24	1.30	1.24	1.26
2 農業	1.11	1.12	1.12	1.12	0.94
3 工業	1.14	1.26	1.29	1.26	1.15
4 商業	0.99	1.09	1.10	1.09	1.06
5 水産	0.68	0.85	0.95	0.68	0.97
6 体育	1.08	1.83	1.83	1.67	1.54
7 英語	1.69	1.43	1.69	1.56	1.22
8 家庭	1.07	1.18	1.08	1.36	1.06
9 看護	1.36	1.54	1.61	1.54	1.50
10 理数	1.82	1.36	1.17	1.96	1.29
11 美術	1.65	2.05	1.00	1.85	1.00
12 総合	0.91	0.96	0.90	1.07	1.12
13 福祉	0.46	0.83	0.72	0.88	—
14 災害科学	0.42	1.21	0.92	—	—
全日制課程	1.15	1.20	1.24	1.22	1.23
定時制課程	0.30	0.32	0.34	0.41	0.49

5 地区別出願倍率(全日制課程)

(1) 前期選抜(H24は推薦)

地 区	出願倍率				
	H30	H29	H28	H27	H24
南部地区	1.38	1.37	1.39	1.35	0.69
中部南地区	1.93	1.91	2.06	1.94	1.32
中部北地区	1.86	1.81	1.83	1.83	1.31
北部地区	1.55	1.49	1.58	1.39	0.73
東部地区	1.44	1.36	1.48	1.48	0.85
総 計	1.69	1.65	1.72	1.65	1.05

(2) 後期選抜(H24は一般入試)

地 区	出願倍率				
	H30	H29	H28	H27	H24
南部地区	0.85	0.97	1.01	0.97	0.96
中部南地区	1.39	1.41	1.46	1.42	1.46
中部北地区	1.36	1.44	1.49	1.48	1.48
北部地区	0.85	0.89	0.95	0.89	0.97
東部地区	0.94	0.96	0.90	0.97	0.98
総 計	1.15	1.20	1.24	1.22	1.23

6 出願状況からみた全県一学区化に伴う地区外出願状況について

※数値は総出願者数に対する各地区外への出願者数の割合(%)

		H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
地区外出願者の割合		17.6%	17.0%	17.2%	16.0%	15.3%	15.7%	14.5%	14.2%	13.6%
内 訳	1 中部南北地区間	10.6%	10.1%	10.5%	10.0%	9.0%	9.7%	8.7%	8.2%	7.7%
	2 中部地区と他地区間	5.9%	6.0%	5.9%	5.1%	5.5%	5.2%	5.0%	5.1%	5.0%
	3 中部地区以外の地区間	1.0%	0.9%	0.8%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%

平成31年度公立高等学校入学者選抜について

1 募集定員

		平成31年度	平成30年度	増減
募集定員(全日制課程+定時制課程)		15,520	15,560	▲ 40
全日制課程		14,520	14,560	▲ 40※1
前期選抜	前期選抜	4,770	4,814	▲ 44
	後期選抜※2	9,750	9,746	4
定時制課程		1,000	1,000	0
前期選抜	前期選抜	300	296	4
	後期選抜※2	700	704	▲ 4
通信制課程 (美田園高校)		500	500	0
一期入学者選抜		450	450	0
二期入学者選抜		50	50	0

※1：石巻工業高等学校機械科 1学級減による40人の減

※2：後期選抜の定員は前期選抜後に確定する。

なお、全日制的後期選抜の募集人数には、併設型及び連携型中学校からの入学予定者302名を含む。

2 日程等

	前期選抜・連携型選抜※3	後期選抜	第二次募集※4
出願資格	志望する高等学校が事前に公表する「出願できる条件」を満たす生徒	前期選抜を受験していない生徒及び前期選抜に合格していない生徒	前期選抜、後期選抜のいずれにも合格していない生徒
実施日	平成31年1月31日(木)	平成31年3月6日(水)	平成31年3月19日(火) ※4
実施内容	○3教科の学力検査 (国語・数学・英語) ○学校独自検査 (面接・実技・作文等から1つ以上実施)	○5教科の学力検査 (国語・社会・数学・理科・英語) ○面接や実技を実施する 場合がある	面接、実技、作文、学力検査のいずれか1つ又は複数を実施する場合がある※5
合格発表	平成31年2月8日(金)	平成31年3月14日(木)	平成31年3月19日(火) 20日(水) ※6

※3:連携型選抜 連携型中高一貫教育を行っている、南三陸町内の2中学校(志津川中、歌津中)の生徒を対象として、志津川高校において実施

※4:合格者数が募集定員に満たない高校で実施

※5:学力検査を実施する場合は、国語、数学、英語のうち1教科以上を実施

※6:実施校で決定し、後日公表

3 HPでの公表

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/>

平成31年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧の詳細について

入学者選抜実施校数の数え方

○全日制課程・・・69校133学科・コース

分校も1校と数えている。学科数は、複数の学科が一括募集を実施する場合は、まとめて1学科として、同一学科でコース別に募集する場合は、それぞれのコースを1学科として数えている。

○定時制課程・・・13校21学科

分校も1校と数えている。

I 社会人特別選抜(定時制課程)

11校19学科・部

普通科 8校13学科・部	専門学科 3校6学科
大河原商 名取 佐沼 気仙沼 貞山(昼・夜) 田尻さくら(I部・II部) 東松島(I部・II部・III部) 仙台大志(I部・II部)	仙台工(建築土木・機械) 古川工(電気・機械) 宮城二工(電子機械・電気)

II 事務日程(予定)

事 項		期 日	
募 集 定 員 公 表		平成30年7月4日(月)	
入 学 者 選 抜 一 覧 公 表		平成30年7月2日(月)	
第 1 回 志 願 者 予 備 調 査		平成30年11月1日(木)から11月5日(月)まで	
第 2 回 志 願 者 予 備 調 査		平成31年1月4日(金)から1月7日(月)まで	
前 期 選 抜	出 願 受 付	平成31年1月8日(火)から1月11日(金)まで	
	出 願 書 類 受 領 書	平成31年1月8日(火)から1月11日(金)まで	
連 携 型 選 抜	受 験 票 等 送 付 一 覧	平成31年1月17日(木)	
社 会 人 特 別 選 抜	学 力 検 査 等	平成31年1月31日(木)	
	結 果 通 知	平成31年2月8日(金)	
	合 格 者 の 発 表		
後 期 選 抜	出 願 受 付	平成31年2月18日(月)から2月21日(木)まで	
	学 力 検 査	平成31年3月6日(水)	
	合 格 者 の 発 表	平成31年3月14日(木)	
第 二 次 募 集	出 願 受 付	平成31年3月15日(金)から3月18日(月)まで	
	学 力 検 査 等	平成31年3月19日(火)	
	合 格 者 の 発 表	平成31年3月19日(火)又は3月20日(水)	
通 信 制 課 程	一 期 入 学 者 選 抜	出 願 受 付	平成31年3月10日(日)から3月15日(金)まで
		合 格 通 知	平成31年3月23日(土)に郵便で発送
	二 期 入 学 者 選 抜	出 願 受 付	平成30年10月に公表
		合 格 通 知	

新しい県立高等学校入学者選抜制度について

1 第一次募集について

(1) 出願及び学力検査について

イ 出願

(イ) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は卒業見込みの者は、希望する高校に出願することができる。

(ロ) 出願できる高等学校は、一人1校とし、課程及び学科・コースについては一つに限る。ただし、複数の学科・コースを併置する高等学校にあつては、当該校の他の学科・コースを第2志望とすることができることとし、第2志望を認める学科・コースについては、別に公表する。

(ハ) 出願は2月中旬とし、出願に当たっては、入学願書及び写真票、調査書等を提出する。ただし、志願理由書の提出は求めない。

ロ 学力検査の実施

(イ) 学力検査は3月上旬に実施する。

(ロ) 受験者全員に対して、5教科の学力検査を実施する。

(ハ) 実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

(ニ) 実施時間は、各教科50分とする。

ハ 面接・実技・作文の実施

各高等学校は必要に応じて、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文の中から、各高等学校の特色に応じて、一つ又は複数の検査を実施することができる。

(2) 選抜方法について

受験生全員を共通選抜及び特色選抜の対象とし、2つの選抜の選抜順序、募集割合、選抜資料の配点等については、各高等学校が定め、あらかじめ公表する。

イ 共通選抜

(イ) 共通選抜は、学力検査の結果及び調査書に基づいて選抜する。

(ロ) 国語，社会，数学，理科及び英語の5教科の学力検査（500点満点）の結果及び調査書（195点満点）を選抜資料の基本とする。

(ハ) 体育及び美術に関する学科にあつては、実技の評価を選抜資料に加えることができる。

(ニ) 各高等学校は、学力検査点と調査書点の満点を原点とした相関図表を用いて選抜する。このとき、あらかじめ届け出た、学力検査点と調査書点の比重に基づき、その両方の満点により近い者を上位とし、上位の者から審査し、選抜する。

ロ 特色選抜

(イ) 特色選抜は、受験生のもつ多様な資質・能力，適性，意欲等，中学校における取組を適切に評価するため，各高等学校及び学科等の特色に応じて選抜資料の配点等を共通選抜と別に定めるなどして，各高等学校及び学科等の求める生徒像に照らして総合的に審査し，選抜する。

(ロ) 各高等学校は必要に応じて面接，実技，作文の評価を選抜資料に加えることができる。

(ハ) 学力検査点（500点満点）は，各教科の学力検査の得点を換算率0.25～2.0倍により算出して得られた点数を合計したものとする。

(ニ) 調査書点（195点満点）は，各教科・学年の評定を換算率0.25～2.0倍により算出して得られた値を合計したものとする。ただし，不登校生徒等を積極的に受け入れる学校においては，0.25未満の換算率とすることができる。

(ホ) 学力検査点及び調査書点の換算率については，0.25刻みの8段階のうちから，学校・学科ごとに設定する。

(へ) 審査対象は、学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文の得点の合計点上位の者から、特色選抜募集人数の120～200%の範囲に含まれる者とする。

(ト) 選抜は学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文の得点を合計した点数を
基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて総合的な審査により行う。

(3) 共通選抜と特色選抜の募集割合について

特色選抜の募集割合は、募集定員の10～50%の範囲内で、各高等学校・学科の特色に応じて設定する。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程にあっては募集定員の10～90%の範囲内で設定する。

(4) 合格者の発表について

共通選抜と特色選抜の区別なく、合格者を発表する。

2 連携型中高一貫教育に関する選抜について

連携型高等学校は、連携型中学校からの志願者を対象とした連携型選抜を実施する。
学力検査、調査書及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

3 社会人特別選抜について

定時制課程の学科においては、社会人を対象とした選抜を行うことができる。学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

4 通信制課程に関する選抜について

上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

5 追試験について

- (1) 第一次募集検査日当日，病気，交通事故，その他のやむを得ない事由によって受験できなくなった者で，所定の手続きを経た者は追試験を受験することができる。
- (2) 追試験は第一次募集の学力検査実施から合格発表までの期間に第一次募集と同じ方法で実施し，合格者の発表については，第一次募集の合格発表と同時に行う。

6 第二次募集について

- (1) 第一次募集の合格発表の時点で募集定員が満たされていない高等学校の課程，学科・コースについては，第二次募集を行うものとする。
- (2) 選抜は，調査書のみの審査，あるいは調査書に，第二次募集の学力検査，面接，実技（体育及び美術に関する学科の場合），作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた総合的な審査により行う。
- (3) 選抜資料の配点等については，各高等学校が定め，あらかじめ公表する。

7 調査書について

様式については別紙のとおりとする。

8 出願希望調査について

(1) 調査の実施について

県内公立高等学校を志願する者について，希望する高等学校ごとに第1希望生徒数を調査する。出願希望できる高等学校は，一人1校とし，課程及び学科・コースについては一つに限る。

(2) 結果の公表について

調査は1月中旬に実施し，県内公立高等学校ごとの出願希望者数を公表する。

9 導入時期

平成32年度入学者選抜から実施する。

調査書の様式例

(別紙)

(平成32年度入学者選抜用)

調査書

ふりがな		性別	
氏名			
生年月日	平成 年 月 日生		
卒業年月	平成 年 月		

調査書等作成委員会	
記載責任者印	

受験番号	※No.
------	------

記載内容に誤りがないことを証明します。

平成 年 月 日

学 校 名

校 長 氏 名

印

1 各教科の学習の記録					
教科	学年	1	2	3	※
	国 語				
社 会					
数 学					
理 科					
外 国 語					
音 楽					
美 術					
保 健 体 育					
技 術 ・ 家 庭					

4 特別活動等の記録
(1) 学級活動 (2) 生徒会活動 (3) 学校行事 (4) その他

2 総合的な学習の時間の記録

5 スポーツ活動, 文化活動, 社会活動, ボランティア活動等の記録

3 行動の記録			
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕	
責 任 感		公 正 ・ 公 平	
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心	

6 欠席の状況			
学年	事項	欠席日数	事由
	1		
2			
3			

7 特記事項(校外での活動を含む)

※No.

[新様式]

求める生徒像・選抜方法等(例)

学校名	宮城県けやき高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員 (予定)	200人
-----	------------	----	-----	---------------	-----	--------------	------

求める生徒像

本校は、多様な進路希望を持った生徒の自己実現を可能にする学校です。基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させて学力の伸長を図るとともに、特別活動等への積極的な参加を促すことによりバランスのとれた生徒の育成に努めています。
また、保護者、地域社会から支持され信頼される開かれた学校です。
豊かな人間性とたくましさを持ち、自主的・自律的・意欲的に生き生きと活動する、次の1～5のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本校で学ぼうとする理由が明確で、自主・自律の精神で、学校生活に意欲的に臨む生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
- 3 進路実現に向かって継続的に努力し、積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
- 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒
- 5 部活動、校外でのスポーツ活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記4及び5のいずれかに当てはまる生徒を重視します。

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		商業科	面接
共通選抜	140人（募集定員の70%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路志望 (4) その他 4 観点 (1) 態度 50点 (2) 表現力等 150点 ※面接については、2日目に実施する。
学力検査:調査書	5 : 5		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜	60人（募集定員の30%）		
I 配点 1 調査書 390点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を4.0倍にする 2 学力検査 375点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科……得点を0.75倍にする 3 面接 200点 合計 965点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する60人の120%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

第二次募集（選抜方法等）

			面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 225点 ・ 国語、数学、英語……全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語、数学、英語(各教科100点満点) 3 面接 200点 合計 725点 II 選抜方法 上記 I を基に、総合的に審査し、選抜する。			I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 1人10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ

平成32年春までの日程

内容	平成30年		平成31年			平成32年							
	5~6	秋	7	8	10	1	2	3月上旬	3月中旬	3月下旬			
保護者対象 新入試制度説明会						出願希望調査	第一次募集出願	第一次募集検査	追試験	第一次募集合格発表	第二次募集出願	第二次募集検査	第二次募集合格発表

新入試制度 Q & A

- Q** ● 共通選抜だけ、あるいは特色選抜だけに出願することはできますか。
- A** ● 共通選抜、特色選抜の区別なく出願します。
- Q** ● 各高校が用いる換算率や選抜順序等は、どのようにして確認することができますか。
- A** ● 換算率や選抜順序等の各高校が定める選抜方法については、各高校が学科・コースごとに作成する「求める生徒像・選抜方法等」に記載されます。
「求める生徒像・選抜方法等」は、平成30年の秋に、各高校及び県教育委員会のHPに掲載するとともに、各中学校に冊子を配布しますので、HP又は冊子で確認してください。
- Q** ● 「求める生徒像」にあてはまらない場合は、出願できないのですか。
- A** ● 「求める生徒像」は、各高校が力を入れている教育や生徒に望む資質、能力等について示したものです。
すべての受験生は、希望する高校に出願し、受験することができます。
- Q** ● 検査に面接、実技、作文がある場合、受験者は全員受けなければならないのですか。
- A** ● 面接、実技、作文を実施する場合は、その学校・学科に出願した受験生全員が受けることになります。

平成32年春の高校入試から

(現在の中学2年生が受験する高校入試から)

宮城県の公立高校の入試制度が変わります

新入試制度のポイント

これまでの前期選抜と後期選抜を一本化し、**第一次募集**として実施します。

第一次募集では、**共通選抜**と**特色選抜**の2通りの選抜方法で合否を判定します。

インフルエンザ等のやむを得ない事由により、本試験を受験できなかった受験生を対象に**追試験**を実施します。

問い合わせ先

宮城県教育庁高校教育課
TEL 022-211-3624 FAX 022-211-3696

※ 関連情報については、高校教育課のHP
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/kyo-top.html> を御覧ください。

平成30年5月発行



この資料は、植物性インクと古紙リサイクル配合率70%再生紙を使用し、環境にやさしい印刷方法を採用しています。

宮城県教育委員会

第一次募集の概要

出願

出願時期は2月
すべての受験生が希望する高校に出願し、受験することができます。

本試験

検査日は3月上旬
検査内容
 ■学力検査（国語，数学，社会，英語，理科）
 ・全員共通で実施します。
 ■面接，実技，作文
 ・面接，作文（各高校・学科等によって実施する場合があります）
 ・実技（体育や美術に関する学科で実施します）
 ※面接，実技，作文を実施する場合，検査日が2日間になることがあります。

追試験

■やむを得ない事由で，本試験を受験できなかった受験生を対象に実施します。
 ■検査内容は，本試験に準じます。

各高校における合否判定

- 共通選抜と特色選抜の2通りの選抜方法で合否を判定します。
- 最初の選抜方法で合格圏内に入らなかった受験生を対象に，もう一方の選抜方法で合否を判定します。
 → 受験生が共通選抜か特色選抜かを選ぶ必要はありません。
- 共通選抜と特色選抜の選抜順序については，各高校が定めます。

合格発表

発表日は3月中旬
 ※共通選抜による合格か，特色選抜による合格かの区別なく発表します。
 ※追試験による合格者も区別なく発表します。

第二次募集の概要

実施校

●第一次募集の合格者が定員に満たない高校で実施します。

実施時期

●3月下旬（1日で実施）

検査内容

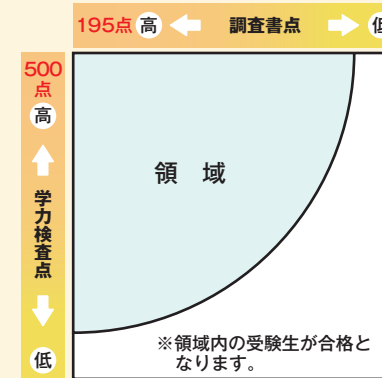
●調査書
 ●学力検査，面接，実技，作文 ※各高校が必要に応じて実施します。

共通選抜と特色選抜について

共通選抜

学力検査点と調査書点の相関図を基に，その両方の満点により近い者を上位として，上位の者から審査し，選抜します。

- 学力検査点（500点満点）
5教科の学力検査点（各教科100点満点）の合計点
- 調査書点（195点満点）
5教科（国，数，社，英，理）については，3年間の評定の合計
4教科（音，美，保体，技家）については，3年間の評定の合計×2倍 } 合計 195点満点



※学力検査点と調査書点の重視の仕方は，次の5つの組合せの中から，各高校が学校・学科ごとに設定します。

【学力検査点と調査書点の重視の仕方】

学力検査：調査書	学力検査重視		同等	調査書重視	
	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

※体育や美術に関する学科では，実技の評価を選抜資料に加える場合があります。

特色選抜

特色選抜では，学力検査点，調査書点及び面接，実技，作文の得点を合計し，その合計点を基に，調査書の記載事項も用いて総合的に審査し，選抜します。審査対象者は，特色選抜の募集人数の120%から最大200%までの間で，各高校が定めます。

- 学力検査点
5教科の学力検査の得点を，各高校が教科ごとに定めた換算率によって算出し，合計したものになります。
※換算率は0.25倍～2.0倍です。
- 調査書点
各教科・各学年の評定を，各高校が定めた換算率によって算出します。算出した値は，5教科（国，数，社，英，理）についてはそのまま合計し，4教科（音，美，保体，技家）については，2倍して合計します。
※換算率は0.25倍～2.0倍です。
※不登校生徒等を積極的に受け入れる学校では，換算率が0.25倍未満の場合があります。
- 面接・実技・作文
面接，実技，作文の配点については，各高校が定めます。

換算率を用いた算出例

【学力検査点で，英語の換算率を2.0倍とした場合】→学力検査の満点は600点

	国語	数学	社会	英語	理科	学力検査点
換算前	100	100	100	100	100	500
換算後	100	100	100	200	100	600

平成31年度宮城県公立高等学校

入 学 者 選 抜 一 覧

入試制度の仕組み	(i)
留意事項	(ii)
入学者選抜一覧表の見方	(iii) (iv)
全日制課程	1 ページ
定時制課程	4 2 ページ
連携型選抜	4 5 ページ
通信制課程	4 5 ページ

平成30年7月

宮 城 県 教 育 委 員 会
仙 台 市 教 育 委 員 会
石 巻 市 教 育 委 員 会